

第六十四回  
帝國議會  
貴族院

# 小切手法案特別委員會議事速記録第一號

付託議案  
小切手法案

委員氏名

- 委員長 侯爵中御門經恭君
- 副委員長 山岡萬之助君
- 子爵秋月 種英君
- 子爵岡部 長景君
- 男爵渡邊 修二君
- 渡邊千代三郎君
- 岸 清一君
- 野村 徳七君
- 山上 岩二君

昭和八年一月二十七日(金曜日)午前十分  
八分開會

○委員長(侯爵中御門經恭君) ソレデハ是ヨリ小切手法案ノ特別委員會ヲ開會イタシマス、先ヅ最初ニ政府ノ方ヨリ御説明ヲ願ヒタイト存ジマス

○國務大臣(小山松吉君) 小切手法案提出理由ノ大體ニ付キマシテハ、本會議ニ於テ御説明ヲ申上ゲタノデアリマスルガ、尙ホ之ヲ敷衍イタシテ少シク御説明ヲ申上ゲマス、小切手ノ制度ハ爲替手形及約束手形ノ

制度ニ比シマスレバ、其發達ノ日ハ尙ホ淺イノデアリマスガ、各國ニ於ケル法制上並ニ慣行上ノ差異ハ頗ル多岐ニ互ツテ居ルモノガアリマシテ、是ガ法規統一ノ事業ノ困難デアリマスルコトハ、十分豫想セラレル所デアリマスケレドモ、其差異ヨリ生ズル實際上ノ不便ヲ除キマシテ、國際通商關係一層確實敏速ナラシメマスルコトハ最モ必要デアリマスルカラ、小切手法規ノ統一ト手形法規ノ統一トハ相前後シテ企テラレマシテ、明治四十五年和蘭ノ海牙ニ開カレマシタ手形法規統一第一回萬國會議ニ於テ、小切手法規統一ニ關スル三十箇條ヨリ成ル決議ガ成立イタシマシタ、之ニ基キマシテ統一法ヲ制定スル條約ノ爲ニ、更ニ萬國會議ガ開催セラルベキ筈デアリマシタ所ガ、大正三年ノ世界大戰ノ勃發ニ依リマシテ、斯カル會議ノ開催ハ不可能トナツタ譯デアリマス、併ナガラ同事業ハ國際通商關係ヲ圓滑ナラシメマスル爲メ必要ナ事業デゴザイマスルカラ、大戰終了後手形法規統一事業ト共ニ、國際聯盟經濟委員會ニ依ツテ續行セラレマシテ、其準備ノ成ルノヲ俟チマシテ、昭和五年五月ヨリ六月ニ互リ

瑞西ノ「ジュネーヴ」ニ於テ、手形及小切手ニ關スル法律統一ノ爲メノ國際會議ガ開カレマシタ所、同會議ニ於テハ會期等ノ都合上、爲替手形及約束手形ニ關スル條約ノ成立ヲ見タノミデアリマシテ、小切手ニ關スル部分ノ審議ハ翌年ニ延期セラレタノデアリマス、而シテ翌昭和六年二月ヨリ三月ニ互リマシテ、右會議ノ第二回ノ會議ガ「ジュネーヴ」ニ開カレマシテ、我國ヲ初メ英國、獨逸、佛蘭西、伊太利等三十箇國之ニ參加イタシマシテ、第一回ノ會議ノ場合ノ如ク、一、小切手ニ關シ統一法ヲ制定スル條約、二、小切手ニ關シ法律ノ或牴觸ヲ解決スル條約及ビ、三、小切手ニ付テノ印紙法ニ關スル條約ノ三ツノ條約ガ成立イタシタノデアリマス、此中統一法制定條約ハ、各締約國ハ條約附屬書デアリマスル小切手統一法ヲ自國ノ國語ニ依ツテ各自ノ領域ニ施行スルコトヲ約スルモノデアリマスカラ、締約國タルガ爲ニハ自國語ニ依ル小切手統一法ヲ國內法トシテ有スル必要ガアルノデアリマス、而モ右小切手統一法ハ、前回ノ會議ノ手形法規ト極メテ密接ナル聯絡調和ヲ保チ制定セラレタモノデアリマシテ、

大體ノ骨子ハ多年各國ノ學者、實際家ノ間ニ於テ研究ヲ重ネラレ來タル、海牙小切手統一規則ヲ踏襲シタモノニ係リマシテ、之ヲ現行商法ノ規定ニ比較シマスルノニ、實際上及理論上優レタル點ガ少クナイバカリデナク、手形統一法ニ基ク手形法ガ、御承知ノ如ク第六十二回帝國議會ノ協贊ヲ經テ、既ニ公布セラレテ居リマスル今日ニ於キマシテハ、是トノ法制上ノ調和ヨリ見マシテモ、今回ノ小切手統一法ニ基ク小切手法規ヲ有スベキコトハ當然デアラウト思フノデアリマス、而シテ政府ガ現下商法改正要綱ヲ諮問申デアリマスル法制審議會ニ於キマシテモ、商法第四編中小切手ニ關スル規定ニ付テハ、小切手統一法ノ如ク改正スルヲ相當ト認ムル旨ノ決議ヲ於シマシテ、其旨政府ニ答申セラレタノデアリマス、依テ政府ハ司法省內ニ委員會ヲ設ケマシテ、慎重ニ調査審議ノ結果、小切手法案ノ成案ヲ得タル次第デゴザイマスルガ、本法案ハ現行商法第四編第四章ノ規定ニ代ルベキモノデアリマシテ、其内容ヲ申上ゲマスレバ、第一章乃至第十章及附則ヨリ成リマシテ、其中第一章乃至第十章ガ小切手統一法ノ翻譯ノ部分デア

リマシテ、唯條約第二附屬書ニ掲ゲタ條項ヲ利用イタシマシテ、之ニ幾何ノ變更ヲ加ヘタル點ガアリマス、其主ナルモノハ統一法ニ於テハ線引小切手ノ外ニ計算小切手ナルモノヲ認メテ居リマス、ケレドモ、本法案ニ於テハ計算小切手ヲ認メナカッタコト、及ビ小切手ノ呈示期間ニ變更ヲ加ヘタルコト等デアリマス、第十一章ハ支拂保證ニ關スル規定デアリマシテ、是亦條約第二附屬書ニ於テ、各國ニ立法ノ自由ヲ容認セラレタル所デアリマシテ、現在我國ニ於ケル小切手取引ノ慣行ヲ參酌シテ、其法律關係ヲ明確ニシタノデアリマス、附則ハ本法施行ノ爲メ必要ナル幾何ノ規定及ビ右ニ述ベマシタル小切手ニ關シ、法律ノ或抵觸ヲ解決スル爲メノ條約ニ基ク國際的私法の規定ヨリ成ルモノデアリマス、本法案ト現行商法中ノ小切手ノ規定トノ差異ヲ見マスルノニ、本法案ハ現行法ヨリ殆ド總テ優レテ居ルモノガアルノデアリマス、其主要ナルモノヲ擧ゲテ見マスルト、一、右述ベタル如キ支拂保證ニ關スル規定ヲ設ケタルコト、二、小切手ノ支拂人タリ得ベキ者ヲ銀行又ハ法令ニ依リテ之ト同視セラルル人又ハ施設ニ限リタルコト、三、小切手ニ付テモ、小切手上ノ效力ヲ有スル保證ヲ認メタルコト、四、

先、日付小切手ハ振出日付トシテ記載セラレタル日ヨリ前ニ支拂ノ爲メ呈示セラレタル時ト雖モ、其呈示ノ日ニ支拂フベキモノト爲シタルコト、五、振出地ト支拂地トガ同一洲ニアル小切手ノ呈示期間ヲ二十日、振出地ト支拂地トガ異ナル小切手ノ呈示期間ヲ七十日ト爲シ、又朝鮮臺灣等ノ海外領土等ニ於テ振出し、日本内地ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ヲ勅令ヲ以テ伸長シ得ルモノト爲シタルコト、六、不可抗力ノ場合ニ遡求權保全行爲ノ爲メノ期間ノ伸長ヲ認メタルコト、七、償還請求權ノ消滅時効期間ヲ總テ六月ト爲シタルコト等デアリマス、其他詳細ニ付テハ、政府委員ヨリ御質問ニ應ジ御答ヘ申上ゲマス、今述ベマシタ各條約ニハ各國ノ批准シ得ベキ時期ヲ本年八月三十一日迄ト定メラレテアリマシテ、且ツ條約ノ效力發生條件ハ總テ手形法ニ關スル條約ト同様デアリマスルカラ、國際聯盟常任理事國タル我國ハ、小切手法規統一ノ事業ニ國際的ニ協力スル上ニ於キマシテモ、重要ナル地位ニアルノデアリマス、之ニ協力イタシマスルコトハ寧ろ現行法規ノ改善トモナルノデアリマスルカラ、本委員會ニ於テモ、慎重御審議ノ上御可決アラムコトヲ希望イタシマス、尙ホ

此際一言申上ゲテ置キマスルコトハ、手形法ノ施行ニ關スル條件デアリマス、同法施行ノ期日ハ手形ニ關スル條約ガ效力ヲ發生スル日ト一致セシメタキコトハ、既ニ前々同ノ議會ニ於テ申述ベテ置イタ所デゴザイマスガ、其後ノ調査ニ依リマスルト、批准期限デアリマシタ昨昭和七年八月三十一日迄ニ批准書ヲ寄託ヲ終リマシタノハ、我國ヲ初メ伊太利、奧地利、瑞西、白耳義、和蘭、丁抹、瑞典、威諾、希臘、芬蘭ノ十一箇國デアリマスルケレドモ、其中聯盟常任理事國ハ我國及伊太利ノ二國ノミデアリマシテ、國ノ數ニ於テハ七箇國ヲ超エテ居リマスニ拘ラズ、尙ホ聯盟常任理事國三國ヲ包含スルコトヲ要ストノ條約效力發生ノ條件ハ滿タサレテ居ナイ譯デアリマス、外ニ佛蘭西、獨逸何レカ一國ノ加入ヲ必要トスル次第デアリマス、然ルニ兩國トモ別段國內ニ實質的ノ法案ニ對スル反對ハナイ様子デアリマシテ、唯御承知ノ通り數次ノ議會解散又ハ内閣更迭ト云フヤウナ爲ニ、條約批准法案ガ何レモ未ダ我國ノ議會ヲ通過シナイ趣デアリマス、我國ハ佛獨兩國政府ニ對シテ之ガ促進方ヲ申出テアル次第デアリマス、未ダニ手形法案施行ノ期日ヲ豫測シ得ナイノヲ頗ル遺憾トシテ居ル次第デアリマス、之ヲ以テ御説明

ヲ終リマス  
 ○委員長(侯爵中御門經泰君) 御質問ガゴザイマシタラ、ドウゾ  
 ○山岡萬之助君 唯今ノ御説明ニ牽連イタシテ、此差異ノアル所ノ御説明又ハ優レタ點ノアルト云フ御話デアリマシテ、差異ノ點ハ數點御擧ゲニナリマシタガ、此事ニ付テ差異ノ點カラ出ヅル現行法ト如何ナル意味ニ於テ其利益ガアルカ、即チ利害得失ヲ値打ノ上カラ、其差異ノ働キヤスルト云フ御説明ヲ願フテ、且ツ矢張り現行法ト云フモノガ既ニアツテ、今日一般ニ小切手ハ何處デモ使ハレテ居ル、ソレニ基イテ、其差異及ビ其差異ノ依ッテ來タル働キノ優サル、或ハ害ガアルト云フ、ソレ等ヲ大體此際御説明ヲ願フテ置キタイト思ヒマス  
 ○政府委員(長島毅君) 差異ハ相當澤山アリマスケレドモ、其主ナルモノダケニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、第一ハ小切手ハ銀行カ又ハ銀行ト同視セラレル施設ニ宛テテノミ振出サレル、其他ノ人ニ對シテハ振出サレナイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、無論銀行デナイモノニ振出シマシテモ小切手ハ無効ニナリマセヌガ、其違反ニ付テハ制裁ガアルコトニナツテ居リマス、是ハ法律トシテハ現行法ト違フテ居ル所デアリマスガ、

御承知ノ如クニ現在ノ取引ノ現状ニ於キマシテハ、個人ガ支拂人ニナツテ居ル小切手ト云フモノハ別物ノヤウデアリマスカラ、實際ニ於テハ大シタ相違モナイト思ヒマスケレドモ、斯ウ云フ規定ヲ置キマシタ方ガ完全デアリマスルシ、又個人ヲ支拂人トスルヤウナ小切手ヲ認メナイコトガ宜カラウ、萬一サウ云フ場合ガ起リタ時ニハ、ソレヲ禁ズル方ガ宜イト云フデアリマス、其次ニハ小切手ヲ第三者方デ拂フコトガ出來ルヤウニ致シタノデアリマス、前ニ申シマシタヤウニ、小切手ハ銀行デ支拂フノデアリマスカラ、若シ其支拂銀行ニ支店等ノ無イ場合ニハ不便ヲ感ジマス、ソコデ其銀行ノ支店ノ無イヤウナ土地ニ、其支拂銀行ノ取引先デモアリマスレバ、サウ云フ取引先ノ銀行ヲ支拂場所ニシマスト非常ニ便利デアリマシテ、小切手ノ融通ノ上ニ都合ガ好クナルコトト思ヒマス、其外代理權ノ無イ者ガ、或ハ代理權ヲ踰越シタ者ガ小切手ヲ振出シタヤウナ場合ニ、今度ノ小切手法ハ責任ガアルト云フヤウナコトヲ書イテ居リマスガ、是ハ御承知ノ通り解釋ハ同ジコトニナツテ居リマス、併シ規定ハ缺ケテ居リマスカラ、矢張り規定ガアル方ガ宜イトト思ヒマス、ソレカラ白地小切手、詰リ空欄デ

小切手ヲ渡シマシテ、之ヲ後日補充ヲ委セル意味デ小切手ヲ出シマシタ時ニ、其補充ヲ委セラレタ者ガ、權限ヲ越エテ補充ヲ委サレタ時ノ規定デアリマス、是モ我ガ商法ノ解釋トシテハ殆ド今度ノ小切手法ト解釋ハ同ジニナツテ居リマスケレドモ、矢張り此規定ガアル方ガ非常ニ完全ダト存ジマシテ、結局今迄ノ規定ノ不備ヲ完全ニシタコトニナルノデアリマス、ソレカラ是ハ果シテ長所カドウカ存ジマセヌガ、持參人拂ノ小切手ノ裏書ヲ致シマスト、其裏書ヲ致シタ者ハ償還ノ義務ヲ負フコトニナツテ居リマス、現在デハサウ云フコトニナツテ居リマセヌ、唯現在ニ於キマシテハ其小切手ガ或銀行ヲ通過イタシマスト、多クハ其銀行ノ判ヲ押捺スルヤウデアリマスガ……捺スヤウデアリマスガ、併シ是ハ裏書ニハナリマセヌカラ、唯其銀行ノ判ヲ押捺スルダケデハ無論償還ノ義務ハ負ヒマセヌ、デアリマスカラ商習慣ニハ觸レナイ規定デアリマス、サウデアリマセヌデ、其持參人拂ノ小切手ニ本當ノ裏書ヲシタコトニナルト云フコトニナリマスト、償還ノ義務ハ負フコトニナツテ居リマス、裏書小切手ノ信用ヲ詰リ厚カラシメルト云フ意味ニ於テ、却テ斯ウ云フ規定ヲ設ケタ方ガ宜イノデハナイカト云

フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ小切手ニモ手形ト同ジヤウニ保證ヲ認メタ點デアリマス、是ハ後ニ申上ゲマスガ、支拂保證トハ違ヒマシテ、詰リ本當ノ手形行爲上ノ保證デアリマスガ、現行法デハ小切手ニハ保證ヲ認メテ居リマセヌ、恐クハ小切手ハ支拂證券デアリマシテ、餘リ長イ期間融通シナイト云フ豫期ノ下ニ出來タモノト思ヒマスガ、支拂證券タルガ故ニ、保證ヲ認メナイト云フコトハナイ、却テ矢張り是ハ手形ト同ジク保證ヲ認メマシタ方ガ、小切手ノ融通ニ非常ニ都合ガ宜シク、是等モ矢張り優リタ點ダト思ヒマス、ソレカラ次ニハ先日付ノコトデアリマスガ、御承知ノ如クニ現在ニ於キマシテハ振出ノ日付ヲ先ニ致シマシテ、詰リ此小切手ノ呈示期間ガ決ツテ居リマスノデ、ソレヲ避ケル意味ニ於キマシテ、振出ノ日付ヲ先ニ致シマシテ、サウシテ呈示期間ヲ幾ラカ延バスト云フ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、此場合ニ其先ニ致シマシタ振出ノ日付ヨリ前ニ呈示サレマシタ場合ニ、例ヘバ二月ノ二日ナラ二日ト云フ日付デ小切手ヲ出シテ居リマス、其日付ヨリ前ニ呈示ヲサレタ時ニハ拂ハナイト云フ習慣ニナツテ居リマスガ、是ハ實ハ小切手ノ信用ノ上カラ言フト甚ダ

好マシクナイノデアリマシテ、小切手ヲ出シテ置キナガラ、而モ是ガ一種ノ呈示期間ヲ増スダケノ意味デ出來テ居リマスカラ、取引上現在ノヤウナ慣習ニナツテシマヘバ差支ノナイヤウナモノデアリマスガ、一體小切手ノ眞實ト云フコトカラ、實際眞實ト云フコトカラ言ヘバ好マシクナイ、ソレデ今度ノ小切手法ハ先日付ノ小切手ガ出マシタ場合ニ、無論其場合ニ其小切手ハ無効デアリマセヌガ、併ナガラ其日付ヨリ前ニ其支拂ヲ求メラレテモソレヲ拂ハナケレバナラス、詰リ小切手ヲ振出シタ以上ハ支拂ヲ拒ムコトハ出來ナイト云フコトニ致シマシテ、是等モ大イニ小切手ノ信用ヲ増ス規定ダト思ヒマス、ソレカラ其次ニハ小切手呈示期間ノコトデアリマスガ、此呈示期間ヲ振出地ト支拂地ノ距離、交通等ノ關係カラ色ミト時日モ違ヒマシテ、相當此振出地ト支拂地ガ隔ツテ居ル場合ニハ、長イ呈示期間ヲ定メテ置クコトハ非常ニ實際ニ適當シテ居ル宜イ規定ダト思ヒマス、ソレカラ線引小切手ニ付テハ色ミ細カイ規定ガゴザイマシテ、是モ大體ニ於テ現行ノ習慣ニ基イテ居リマスガ、尙ホソレ以上線引小切手ニ付テノ規定ガ大變良クナツタヤウニ思ヒテ居リマス、ソレカラ小切手ノ複本ヲ認メマシテ、隨

分此小切手モ遠方デ支拂フヤウナコトモゴザイマスカラ、サウ云フ場合ニ付テ紛失等ノ虞ニ備ヘル爲ニ、複本ヲ認メテ居マスコトハ、是モ實際ニ適當シタコトト思ヒマス、ソレカラハ是ハ條約トハ關係ガナイコトデアリマス、今度作りマシタ小切手法ニ依リマシテハ、支拂保證ノ規定ヲ新クニ設ケタノデアリマス、條約上ニ於テハ唯附屬書ヲ置イテ支拂保證ノ規定ヲ設ケルコトガ出來ルト云フコトニナッテ居ルダケデ、條約上ニハ何ニモ別段支拂保證ノ規定ハゴザイマセヌ、條約ニ於テハ各國ハ支拂保證ノ規定ヲ設ケラレルト云フコトガアリマスノデ、ソレニ基イテ銀行家、實業家方面ノ希望ニ基イテ小切手ノ支拂保證ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、御承知ノ如クニ此支拂保證ハ現在ノ殆ト商習慣ニ於テ既ニ認めラレテ居ル所デアリマスカラ、其商習慣ヲ法律化シマシテ、即チ從來ノ商習慣ヲ法律ニ致シマシテ、其間ノ法律關係ヲ明瞭ニナラシメマシテ、是等モ實業家カラノ要望ニ基イタモノデ、從來ノ法制カラ見レバ一ツノ進化ダト思ヒマス、尙ホ稍、困ルト思ヒマスノハ、例ヘバ此小切手ニハ振出地ノ記載ヲ要スルト云フコトニナッテ居リマスガ、今迄ノ日本ノ商法デハ振出地ハ要項ニハナッ

テ居リマセヌ、振出地ヲ要件ト致シマシタノハ準據法ガ振出地デ決マル場合ガ相當アル、何處ガ振出地カト云フコトヲ見ルノハ、一應手形ノ記載ニ依ルコトニナリマスカラ、ドウモ此國際私法ノ關係カラ見マスト、振出地ヲ書クノガドウシテモ必要ノヤウニ思ハレルノデアリマス、今迄ハ振出地ト云フモノハ書イテ居リマセヌカラ、此點ハ不便ト言ヘバ不便デアリマスガ、御承知ノ如クニ小切手ノ如キハ皆印刷ヲ以テ通用ヲ致シマシテ、實際ニ於キマシテハ筆デ書イタモノハ殆トハ融通イタシマセヌ、印刷デヤルト云フコトニナレバ、振出地ノ所ヲ印刷ニシテ置ケバ是ハ別段間違ヒアリマセヌノデ、ソレデ宜カラウト思ヒマス、尙ホ本法ガ施行ニナリマシテモ、六箇月間ダケハ從前ノ規定ニ依ル小切手ガ通用スル次第デアリマス、是ガ大體此法規ノ長所デアリマス、尙ホ是ハ手形ノ時ニモ申上ゲタコトデアリマスガ、申ス迄モナイコトデアリマスケレドモ此手形デアリマスガ、此法規ガ世界的ニ統一サレテ全然同ジ條文ナレバ、取引上非常ニ便利デアリマス、遺憾ナコトニハ英國ト米國トガ入ッテ居リマセヌ、是ハ今申上ゲマシタヤウニ、英國ハ

慣習法デ適當ニヤッテ居リマス國デアリマシテ、慣例ニ基イテ法律ガ出來テ居ル、法律カラ先ニ行カナイデ、慣習カラ先ニ行クト云フコトデアリマスカラ、統一法ト云フモノハ初メニ決メルコトハ困難デアリマス、亞米利加モ亦最近漸ク各州ノ法律ガ統一ガ出來タバカリデアリマシテ、ソレ等ノ關係カラ是モ入ッテ居リマセヌ、併ナガラ此法律自身ガ餘程英米法ニ近イサウデアリマス、其近イト云フ點ハ、私ハマダ研究シテ居リマセヌガ、近イト云フコトデアリマス、セメテモ是ダケデモ改メテ、少クトモ外ノ國ト法律ガ統一サレマスレバ、追、英米ヲソレニ引込ムト云フコトモ出來マスシ、又英米法ニ此法律ガ近イモノデアリマスカラ、其點ニ於テモ便利カト思ヒマス、尙ホ此法律ハ準用ノ制度ヲ止メマシテ、小切手ト云フモノヲ全部手形法ト同ジヤウニ書直シテ居リマス、ソレデ準用カラ生ズル疑義ガナクシテ、適用上取引上甚ダ便益ガ多イコトト考ヘルノデアリマス

○山岡萬之助君 私今日伺ヒマスコトハ此程度デアリマシテ、又機會ヲ見マシテ伺ヒタイト思ヒマス

○委員長(侯爵中御門經泰君) 外ニ御質問ゴザイマセヌデセウカ

○岸清一君 小切手法案ニ付テ法制審議會デ可決ヲ致シマシタノニ、此處ニ今政府委員ノ御説明ノ通り支拂保證ト云フ一章ト殆ト同ジモノヲ書イテ、全八十一條カラ成ル小切手法ガ出來タト云フコトデアリマスガ、此附則ノ中ニアリマスル七十二條以下ノ規定ハ、相當ニ實體法ニ關スル規定ガ大分アルヤウデアリマス、是ハ此小切手統一法トハ全ク抵觸トカ矛盾トカスルコトハナイノデゴザイマセウカ、チヨット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) 附則ノ或モノハ、施行期日六十三條六十四條ハ別デゴザイマスガ、此六十五條モ別ト言ヘバ是モ別ト思ヒマスガ……

(岸清一君「七十二條以下」ト述ブ)

ソレ迄ノ間ノ、大體第二附屬書ノ留保ニ基キマシテ出來テ居リマス、ソレカラシテ七十二條、七十三條、七十四條、七十五條等ハ、皆此第二附屬書ニゴザイマス留保ヲ用ヒマシテ、詰リ統一法ノ或部分ニ付テハ違ッテ規定ガ出來ト云フコト、或ハ統一法ノ或部分ニ付テハ、時効ノ規定ガ設ケラレルト云フヤウナ留保ガゴザイマスノデ、留保ニ基キマシテ出來テ居リマス、七十六條以下ハ是ハ御承知ノ通り、尙ホ此小切

手統一條約同時ニ締結イタサレマシテ、小切手法ノ概觸ヲ避ケル、詰リ國際私法的ノ條約ガゴザイマシテ、ソレニ基イテ作ラタモノデアリマス、尙ホ併シ……チヨット條文ノ順序カラ大體サウ云フコトニナリマス

○岸清一君 小サイコトデアリマスルガ、七十五條ノ休日ト云フモノ中ニ、祝日ト云フ日トソレカラ「其ノ一般ノ休日」ト書イテアリマス、是ハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(長島毅君) 是ハ前ノ手形法ニモアリマシテ祭日、此規定ハ大變ムツカシイノデ、確カ祝祭日ト云フノハ勅令デ以テ出テ居リマス、一般役所ノ休日トシテ……、ソコデ此問題ハ昭和二年三月四日勅令第二十五號、休日ニ關スル件ト云フ勅令ガ出テ居リマシテ、ソレニマア今ノ元始祭、新年宴會、紀元節、神武天皇祭、天長節、神嘗祭、明治節、新嘗祭、大正天皇祭、春季皇靈祭、秋季皇靈祭ト云フ風ニ這入テ居リマスガ、ソレガ祭日、祝日デアリマス、其

他ニ日曜日、ソレカラマア一月一日ヤ一月二日ハ、勅令ニアリマセヌケレドモソレ等モ矢張り一般ノ休日ニ入レテ居リマス、御承知ノ通り一般ノ休日ト云フノハ何ニ當ルカト云フコトハ能ク分リマセヌデスガ、是ハ他ノ法規ナドモ大體斯ウ云フ風ニ

ナッテ居リマスノデ、疑ヒノナイノハ此程度デアリマス

○岸清一君 祭日ト祝日ノ間ニハドウ云フ違ヒガアリマスカ

○政府委員(長島毅君) ドウモ是ハ大體、今申シタノハ祭日祝日ト云ッテ居リマスガ、ドウモ勅令ニ休日トアリマシテ、詰リソレ等ヲ祝祭日ニ入レテ居ル譯デアリマスガ、大體ノ考トシテハ銀行ノ休ミニナル時ニハ矢張り是ハ休ミト見テ宜カラウト思ッテ居リマス、即チコチラデハゴザイマセヌガ、御承知ノ通りニ銀行ノ「バンク・ホリデー」ト云フノガ矢張り之ニ當リマス、内地デハ或地方ノオ祭ニハ銀行ガ休ムコトガアリマス、デスカラサウ云フ時ハ矢張り之ニ這入リマス

○岸清一君 一般ト云フノハ日本國中ト云フ意味デスカ

○政府委員(長島毅君) 地方ニ關スル限リニ於テ休日ト云フ意味デス

○岸清一君 漠然トシテ居リマスナ

○政府委員(長島毅君) ドウモ書キヤウガナイノデス、民訴ヤ何カデモ斯ウ云フ風ニナッテ居リマシテ、刑訴ハ一月一日カラ確カ入レテ居リマス、民訴ハ入レテアリマセヌガ……

○委員長(侯爵中御門經恭君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌデセウカ

○子爵秋月種英君 チヨット御尋ネ致シマス、此渡リマシテ條約ノ原文ヲ貫クノデスガ、此前手形法案ノ時ニハ我々御願ヒシテ譯文ヲ頂戴シテアリマスガ、アリマシテナラバソレヲ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) 外務省ト交渉中デアリマスガ、外務省ノ方ノ印刷ガ未ダ出來テ居リマセヌ、イヤ、モウソロソロ出來タカモ知レマセヌガ、樞密院デ下審査ラシテ戴イテ居ッテ關係上、譯文ガチヨット間ニ合ヒマセヌモノデスカラ、併シ今交渉中デアリマスカラ、出來マシタナラバ御配付申上ゲタイト思ヒマス、併シ是ハ實ハ表向キノモノデアリマセヌ、樞密院ヲ通ルマデハ絶對秘密ナンデアリマスガ、併シ前例ニ依リマシテ御配リヲ致シタイト思ヒマス

○山岡萬之助君 今マデ此案ガ出來マス間ニ於テ、色ミノ材料ガアツタラウト思ヒマス、ソレ等ノ材料デ提出出來得マスモノヲ委員會ニ御提出ヲ願ッテ、審議ノ材料ト致シタイト存ジマス、政府ニソレダケ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○政府委員(長島毅君) 交換所ヤ何カデ多少意見ヲ聽イタノガアリマスカラ、ソレヲ

○委員長(侯爵中御門經恭君) 如何デゴザイマセウカ、山岡君、秋月君カラモ參考書ヲ政府側カラ御提出ヲ御要求ニナリマシタシ、條文モ可ナリゴザイマセウデスカラ、本日ハ此程度デ止メテ置キマシテ、政府ノ方カラ成ルベク早く參考書ヲ出來ルダケ御出シヲ願ッテ、皆サンガ御讀ミニナリ得ル期間ヲ置イテ再開イタシマシタナラバ如何カト思ヒマス、御異議アリマセヌ

何レ刷ッテ差上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○子爵秋月種英君 私チヨット御諮リ致シタイト思ッテ居リマス、此前ノ手形法案ノ場合ニモ私共委員ノ末席ヲ汚シテ居ッテデアリマス、其際委員會ノ審議ノ上ニ於キマシテ色々議論ガ出マシテ、既ニ條約ガ出來テ、其條約ノ譯文其儘デアルトカ、何等手ヲ著ケル譯ニ行カヌトカ、マア色々議論ガ出マシテ、委員會モ審査ノシヤウガナイト云フヤウナ風ニナッテ濟ミマシタノデスガ、此小切手法案モ同様ナコトニナリハセヌカト思フノデアリマスカラ、此審査ヲ致シマス方法ト言ヒマスカ、豫メ御決メニナッテ、ソレデ我々其方法ニ從ッテ審議ヲ進メテ行クト云フヤウニシタ方ガ早く濟ミハセヌ思ヒマス、一言御諮リヲ致シマス

○委員長(侯爵中御門經恭君) 如何デゴザイマセウカ、山岡君、秋月君カラモ參考書ヲ政府側カラ御提出ヲ御要求ニナリマシタシ、條文モ可ナリゴザイマセウデスカラ、本日ハ此程度デ止メテ置キマシテ、政府ノ方カラ成ルベク早く參考書ヲ出來ルダケ御出シヲ願ッテ、皆サンガ御讀ミニナリ得ル期間ヲ置イテ再開イタシマシタナラバ如何カト思ヒマス、御異議アリマセヌ

デシタラ今日ハ是デ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵中御門經恭君) 是デ散會イ

タシマス

午前十時五十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵中御門經恭君

副委員長 山岡萬之助君

委員

子爵秋月 種英君

子爵岡部 長景君

男爵渡邊 修二君

岸 清一君

山上 岩二君

國務大臣

司法大臣 小山 松吉君

政府委員

司法政務次官 八並 武治君

司法參與官 岩本 武助君

司法省民事局長 長島 毅君